

明倫館だより

第54号
平成22年9月1日発行
発行人 井上晴雄
財団法人 南豫奨学会館
南豫明倫館
http://www.meirinkan.or.jp
E-mail meirin@meirinkan.or.jp
〒184-8586
小金井市中町 4-18-26
TEL 042-383-9835(代)

何となく自分をえらい人のゆうに思ひてゐたりき。子供なりしかな。
(悲しき玩具)から
石川 啄木

ゆとり世代を反映し、伸び伸び精英二〇名が入寮



平成二十二年度南豫明倫館入寮生
(氏名・学部名、出身地、一 自己紹介、二 将来の抱負)

上田 雄喜(法政大学・理工学部、八幡浜市)

一 八幡浜高校出身の上田雄喜です。東京に憧れてやって来ました。ずっと野球をしていました。寮生活なので、あいさつをしつかりとやって生きて行きます。
二 大学では経営システム工学を学ぶので、それを生かして、地域に貢献できる仕事をやっていきます。

曾我部 行正(立教大学・経済学部、八幡浜市)

一 八幡浜高校出身の曾我部です。高校時代はバレーをしていました。早く学校に慣れて、充実した大学生活を送りたいと思います。
二 将来は地方公務員になって、社会に貢献できる人間になりたいと思います。

土手 貴裕(日本大学・経済学部、八幡浜市)

一 八幡浜高校出身の土手貴裕です。高校ではバレーをしていました。音楽鑑賞が好きでよく音楽を聞きます。よろしくおねがいします。
二 具体的な将来の夢は決まっていなくて、東京での四年間の大学生活を通して、明確にしていきたいです。

平野 基喜(國學院大学・神道文化学部、八幡浜市)

一 八幡浜高校出身の平野基喜です。高校時代はラグビーをしていました。大学ではたくさんの人と交流をもつていきたいと思っています。よろしくおねがいします。
二 神道について学んでいます。つまり、家は教会をしています。人と心と心で通じ合えるような大人になりたいと思います。

宮本 剛(中央大学・商学部、八幡浜市)

一 八幡浜高校出身の宮本剛です。ずっと野

球をしてきましたが、趣味は読書です。
二 将来は大学で学んだことを生かして、立派な社長になります。海外進出が目標です。

池田 航生(東京工科大学・メディア学部、宇和島市)

一 宇和島市出身の池田航生です。まだまだ右も左も分からない状況ですが、よろしくおねがいします。
二 正直なところ、これというはつきりとした目標はないですが、メディア関連の仕事をしたかと思っております。

大野 暁洋(明治大学・経営学部、宇和島市)

一 宇和島東高校出身の大野暁洋です。東京だからこそできることをたくさん経験して、充実した四年間にしたいと思います。
二 会社を経営したいと思います。

加藤 史拓(電気通信大学・情報理工学部、宇和島市)

一 宇和島東高校から来ました。加藤史拓です。電気通信大学は勉強が厳しいそうなのでがんばりたいです。
二 海外で技術関連の職に就いてみたいです。宇和島東高校出身の小越圭一郎です。高校では商業関係の勉強しました。大学でも会計などについて勉強していきます。これからよろしくおねがいします。

小越 圭一郎(専修大学・商学部、北宇和郡)

一 宇和島東高校出身の下谷太祐です。早く学校に慣れて楽しい生活を送れるようにしたいです。
二 今の大学で勉強をがんばり、将来、社会の役に立つ人になりたいです。

中井 和昭(早稲田大学・先進理工学部、宇和島市)

一 宇和島東出身の中井和昭です。広島で一浪し、最終的に早稲田に行くことに決めました。
二 化学が好きで、将来は新素材の開発など、化学工学の分野で活躍したいです。

二宮 仁之介(東京海洋大学・海洋科学部、宇和島市)

一 宇和島東高校出身の二宮です。中学高校とバスケットボールをしていました。田舎者ですが早く東京に慣れて勉強やサークルなど頑張ります。
二 兄の背中を見て育ってきたので、将来の寮長となれるようみんなを引っ張っていかたいです。人間になります。

濱田 勝太(東京工科大学・コンピュータサイエンス学部、宇和島市)

一 宇和島東高校出身の濱田勝太です。趣味は、パソコン関係全般です。明倫館では、いろいろな人と知り会いたくさんの経験

をしたいと思います。
二 大学でコンピューターについて学ぶことになるのでコンピューター関係の仕事につきたいと思っています。

山崎 翔太(東京工科大学・コンピュータサイエンス学部、宇和島市)

一 宇和島東高校出身の山崎翔太です。中学生の頃は剣道をしていました。高校では文芸部でした。よろしくおねがいします。
二 字がきれいになりたいです。

金繁 龍一朗(立正大学・経済学部、愛南町)

一 私は高校の時代柔道部に所属していましたが、高校時代に得た経験を大学で活かしたいです。特技はギター、パソコンなど色々あるので困った時には手助けできれ

ばいと思います。
二 将来は、愛媛にもどって地方の景気回復につとめていきたいと思っています。

榎本 颯太郎(慶應大学・法学部、松山市)

一 済美平成教育学校から二年浪人して、この寮に入るようになりました。そうしないように寮内でしっかり生活していくつもりです。
二 将来は企業の企画に携わりたくと思っています。それが結果として社会に何かしらの形で還元できればいいと思います。

山口 賢人(早稲田大学・創造理工学部、松山市)

一 松山東高校から来ました。社会環境工学科の山口です。勉学を怠らせずに、節度ある楽しい大学生活をおくりたいと思います。大学で様々なことを経験し、人類に貢献できるような人材になりたいと思っています。
二 清水 敦史(早稲田大学・商学部、大洲市)

一 済美高校出身、清水敦史です。早く寮や大学に慣れて、楽しい生活を送りたいと思います。
二 まだ決まっていけないので、大学生活でやりたいものを見つけたかと思っています。お金持ちになりたいです。
三 瀬 翔兵(駒沢大学・法学部、大洲市)

平成22年度主要行事予定

平成22年

- 4月 1日(木) 平成22年度新入寮生20名入寮
- 4日(日) 新入寮生歓迎花見
バーベキュー開催
- 10日(土) 公益法人制度改革研究会開催
- 11日(日) 寮則説明会・部屋回り開催
- 18日(日) 平成22年度第1回常務理事会
新入寮生歓迎会
- 5月 7日(金) 監査役会
- 20日(土) 公益法人制度改革研究会
- 6月 5日(土) 平成22年度第1回定例理事会開催
- 7月10日(土) 第2回常務理事会開催
- 8月 9日(月) 夏期休暇開始
- 20日(土) 夏期休暇終了
- 9月 4日(土) 第3回常務理事会開催予定
- 10月 8日(金) 入寮説明会開催予定
- 9日(土) 奨学生面接・高校長懇親会開催予定
- 11月23日(祝) 第4回常務理事会開催予定
寮祭開催
- 12月 4日(土) 第5回常務理事会(忘年会)開催予定
- 25日(土) 冬期休暇開始

平成23年

- 1月 8日(土) 冬期休暇終了
- 1月22日(土) 平成22年度第2回定例理事会開催予定
- 2月20日(日) 第6回常務理事会・卒業生歓迎会予定
- 3月12日(土) 書類審査・第7回常務理事会開催予定
- 3月19日(金) 面接選考会

出身校	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計
八幡濱																													11
宇和島	3		1	1	2		1	2			1	3				2	6	1	1		1		2						27
南宇和											1																		2
松山		2																											3
東温											1																		1
愛光	1	1							1	1											2								6
新田																													2
第五												1																	1
徳義																													1
堀川																													1
済美																													1
合計	4	3	1	1	2	1	1	5	1	2	1	4	1	1	1	3	10	4	7	1	2	1	3	1	1	1	1	1	65

平成22年度支援会申込者数並びに入金状況 (平成22年7月31日現在)

	申込者数(人)	募金額(円)
理事・監事他	15	490,000
評議員	21	420,000
OB	24	335,000
現父兄	6	70,000
一般	19	195,000
法人	1	20,000
市町村	0	0
合計	86	1,530,000

※一般には元父兄含まず。

財団法人南豫奨学会 「奨学金支援会」だより

御礼並びにさらなる御支援を!

財団法人南豫奨学会 奨学金支援会会長 伊達 宗信

平成二十二年、奨学金支援会の募金状況は左記のとおり。二十二年七月三十一日現在で一五三万円に達しております。各界皆様方の厚い御支援に感謝申し上げます。引き続きいっそうの御芳志を賜わりたく、よろしくお願い申し上げます。



私が、南豫明倫館に入寮して、早いものでもう三年経ちました。恵まれた環境と、仲間と共に、日々充実した生活を送らせていただいております。四年生から、運営を引き継ぎ、寮長を中心に伝統の継承と改善、そして、それをまた後輩たちに伝えていく中で、さらに自分たちで、新たに足跡を残そうということ。この春、南豫明倫館野球部牛鬼オリオンズを発足させていた

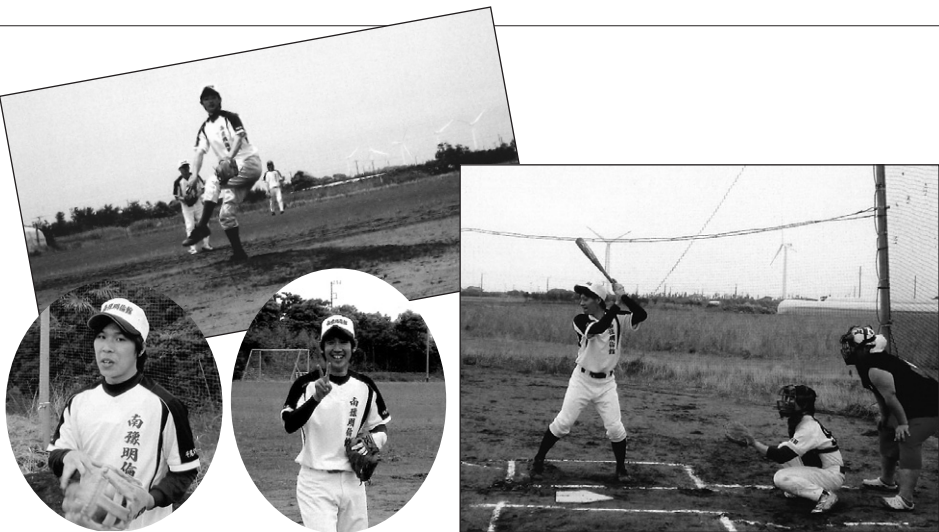
南豫明倫館野球部 牛鬼オリオンズ 明治大学文学部三年 沖野 恭彰

ります。普段の活動内容は、近くの武蔵野公園野球場を予約し、練習して他の県人寮の野球部や、大学の野球サークルチームや草野球チームと試合を行う予定です。

ここで少し、監督として自己紹介をさせていただきます。私は、父に野球の面白さを教えられ、幼少期から約十五年間野球をやっております。小、中と地元の硬式野球チームに所属していた、小学生の時に三度の全国大会に出場して、将来はプロ野球選手を夢見る野球少年でしたが、次第に野球熱は冷めていき、高校では、中学の野球友達の反対を押し切り、野球をやめようとしたのですが、久しぶりにバットやボールを持つとやりたいという気持ちを抑えきれず、カナダに留学した際に、地元の独立リーグ(1A)のユースチームでプレーしておりました。大学でも、野球サークルチームに所属しており、日本の高校野球を経験しなかったことを今でも、後悔しております。野球友達になぜ、高校野球をしなかったのかと尋ねられると、「坊主が嫌いなもので」と、いつも答えております。しかしながら、私にとって野球とは、決して長嶋茂雄の大ファンというわけではありませんが、まさに、人生そのものであり、そして、私の中で野球は永久に不滅でございます。そして、今、その不滅の精神で牛鬼オリオンズの監督兼、捕手兼、盛り上げ役を務めさせてもらっております。ただ、野村克也のマネをさせていたいただきました。

今夏六月十九、二十日に、茨城県波崎町で開催されたメオカップ野球大会に参加してきました。本大会は、旅行会社が大学の野球サークルや一般の草野球サークルを対象にしたもので、優勝賞金も出るというものです。ルールは、リーグ戦方式の7イニングス又は一時間三十分で三十五チームの参加でした。当日は梅雨入りしたばかりで、前日から、警報が発令されるほどの雨模様だったのですが、幸いにも雨は上がり、二日間通じて、計五試合行うことができました。しかし、メンバーのほとんどが運動不足、寝不足、二日酔いなどという理由に、良い結果を残すことができませんでした。中でも、絶対勝とうと

望んだ初戦で、序盤エースの現役東京経済大野球部の天才の素晴らしいピッチングと、安打構成の大量得点で自分たちのペースだったのですが、最終回に逆転サヨナラ負けをしました。途中で、「俺らって強くないか!？」とベンチ内で盛り上がりつつ、自信過剰になっていたのが敗因です。試合後、本当に悔しがっているサインを見て、私はとても幸せでした。明倫館の巨漢、二宮幸平が悔しくて、「昼食が喉に通らない。」と言っただけでした。二日目は、宿で、飲み会などを予定していたのですが、みんな宿に着くなりばたんきゅうでした。二日目も各リーグの最下位チームが集まり底辺の戦いを行って、そこでは一位になり、見事に賞金五千円獲得しました。今回、野球企画を運営するに当たって、苦労したところもたくさんありますが、たくさんの方々の協力で、何事もなくみんな楽しく過ごすことができました。これからも、野球を通じて、残りの大学生活と寮生活を楽しく過ごせば良いなと思う次第です。ありがとうございます。



今号の言葉 「何となく自分をえらい人のゆうに思ひてゐたりき。子供なりしかな。」 石川啄木『悲しき玩具』から

解説

歌人、石川啄木(一八八八〜一九二七)は、わずか二十七歳で亡くなりました。かれほど早熟な少年も珍しく、いつも周囲の中心は自分だと錯覚し、大言壮語していました。それがいかに空しいものであったか、死後刊行された歌集『悲しき玩具』に収められたこの歌によく表現されています。

未成熟な人間は、つねに「俺が、俺が」と他人を軽蔑し、俺は偉いと無意識のうちにいたくなるものです。人はまず、すべてに謙虚であってほしい。語る前に相手の話をよく聞くこと。とくに社会生活の第二歩はこれ以外にありません。

郷里をはなれて学ぶ君たちは、決して子供だといわれないう、自己中心の行動を慎むことです。さほど年齢の違わなかった石川啄木の苦悩と反省を、君の人生の糧にしてみてもいいですか。

南豫明倫館長 木下 博民

編集後記

▼ゆとり教育の見直しなどがすすまっていますが、今入寮してくる新入寮生はそのままの世代的世代。そのせいかみんな伸び伸び、明るい寮生活を送っています。ただし経済的には昨今の不況の影響で、苦しい所帯が多く、とてもんびりできるという状況でもありません。フットサル、野球とスポーツ活動が活発です。どちらも自前のユニフォームを新調、気合が入っています。

▼職員さん、学生の協力で寮の裏に家庭菜園ができ、毎日新鮮なきゅうりやとまとを味わっています。これこそ、心のゆとりです。